

取扱説明書

高エネルギー吸収シリンダ

HCM

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識（日本工業規格 J I S B 8 3 7 0 空気圧システム通則に準じたレベル）を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。



注意：

- アクチュエータの分解点検時には必ず残圧を排出し、確認後作業してください。
- アクチュエータ駆動時にはアクチュエータの駆動内に入ったり、手を入れたりしないでください。
- 電磁弁付アクチュエータ、スイッチ付アクチュエータなどの電気配線接続部（裸充電部）に触れると感電する恐れがあります。分解点検時には必ず電源を切ってから作業してください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。

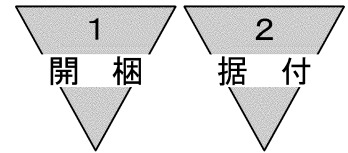
目 次

HCM

高エネルギー吸収シリンダ

取扱説明書 No. SM-236245

1. 開梱	3
2. 据付け	
2.1 据付けについて	3
2.2 配管について	4
2.3 使用流体について	5
2.4 スイッチ取付けについて	5
3. 使用方法	
3.1 シリンダの使用方法について	7
3.2 スイッチの使用方法について	8
4. 保守	
4.1 定期点検	13
4.2 分解手順	13
4.3 組立手順	14
4.4 内部構造および消耗部品リスト	15
5. 故障と対策	17
6. 形番表示方法	
6.1 製品形番表示	18
6.2 部品形番表示	19
7. 製品仕様	
7.1 製品仕様	20
7.2 スイッチ仕様	20



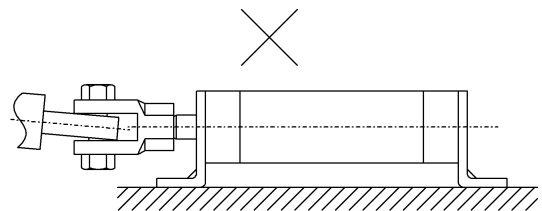
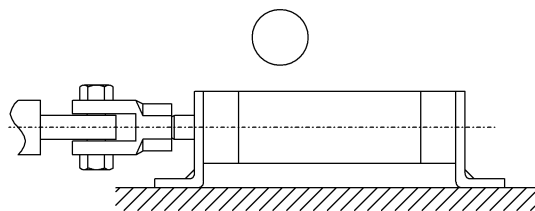
1. 開梱

- 1) ご注文の製品形番と製品銘板のMODEL欄の形番が同一であることを確認してください。
- 2) 外観に損傷を受けていないか確認してください。
- 3) 配管ポートからシリンダ内部に異物が入らないようにシール栓を付けて保管ください。
シール栓は配管時に取り外してください。

2. 据付け

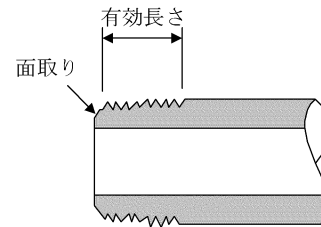
2.1 据付けについて

- 1) 当シリンダの使用できる周囲温度は-10～60℃です。
- 2) 塵埃の多い場所や水滴、油滴のかかる場所での使用は避けてください。
- 3) シリンダのチューブにものを当てたりするとチューブが歪み、作動不良を起こしますのでご注意ください。
- 4) シリンダ固定、ロッドエンドガイドの場合
シリンダのピストンロッドと負荷の同心が出ていない場合シリンダのブシュおよびパッキン類の摩耗がはげしくなります。当社製フローティングコネクタ（商品名：フリージョイント）で接続してください。
- 5) シリンダ固定、ロッドエンド、ピンジョイントの場合
負荷の運動する方向が、ロッドの軸心に平行でない場合、ロッドやチューブにこじれを生じ、焼付・破損などの恐れがあります。従ってロッド軸心と負荷の移動方向は必ず一致させてください。

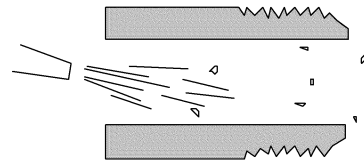


2.2 配管について

- 1) フィルタ以降の配管材は亜鉛メッキ管・ナイロンチューブ・ゴム管など、腐食しにくいものをご使用ください。
- 2) シリンダと電磁弁をつなぐ配管は、シリンダが所定のピストン速度が出るだけの有効断面積があるものをご使用ください。
- 3) 管内のさび・異物・およびドレン除去のためフィルタはできるだけ電磁弁の近くに取りつけてください。
- 4) ガス管のねじ長さは有効ねじ長さを守ってください。また、ねじ部先端より1/2ピッチほど面取り仕上げしてください。

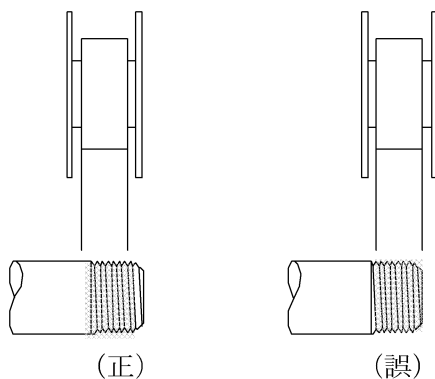


- 5) 配管前に管内の異物・切粉等を除去のため、管内のフラッシング(エア吹き)をしてください。

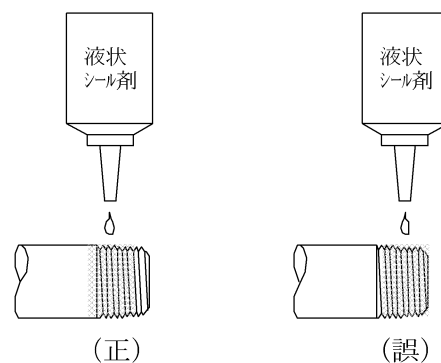


- 6) 配管にはシールテープ又はシール剤をしますが、ねじ先端から2山程控えて使用し、管内や機器内部にテープ屑やシール剤の残材が入りこまないように気を付けてください。

●シールテープ

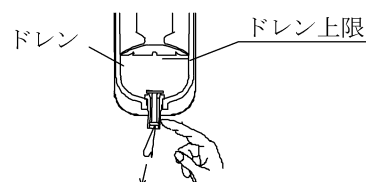
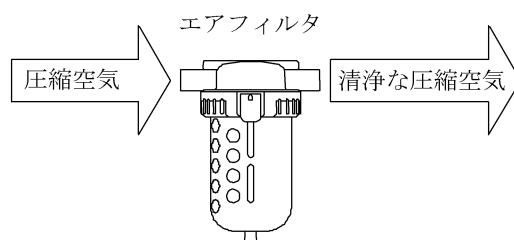


●液状シール剤



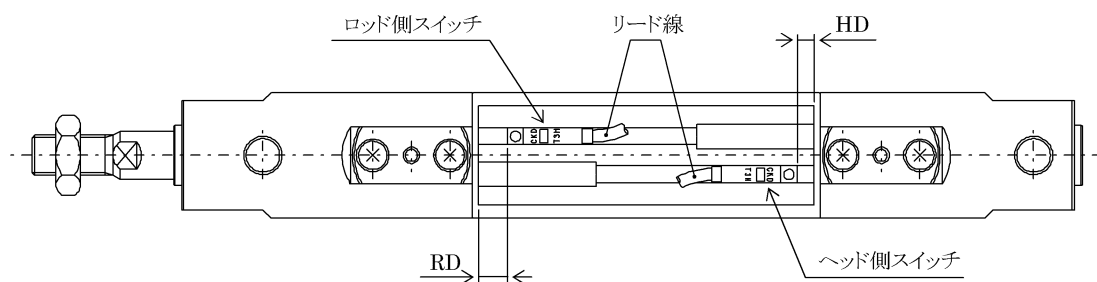
2.3 使用流体について

- 1) 使用する圧縮空気はエアフィルタを通した清浄で水分のないエアを使用してください。このため、空気圧回路にエアフィルタを使用し、ろ過度（ $5\mu\text{m}$ 以下が望ましい）・流量・取付位置（方向制御弁に近付ける）などに注意してください。
- 2) フィルタに溜まったドレンは指定ラインを越える前に、定期的に排出してください。
- 3) コンプレッサオイルの炭化物（カーボンまたはタール状物質）が回路上に混入すると、電磁弁やシリンダが作動不良をおこします。コンプレッサの保守・点検には十分注意してください。
- 4) 当シリンダは無給油使用ができます。給油される場合は、タービン油1種ISO VG32をご使用ください。



2.4 スイッチ取付けについて

- 1) スイッチの取付位置 (共通項目)



- (1) ストロークエンド取付時
スイッチを最高感度位置で作動させるためにロッド側RD寸法、ヘッド側HD寸法の箇所に各々、取付けてください。(表1参照)
- (2) 中間位置取付時
ストローク途中で検出する場合は、検出する位置にピストンを固定しスイッチをピストンの上を前後に移動させ、各々スイッチが最初にONする位置を見つけ出します。その2つの位置の中間がそのピストン位置での最高感度位置であり、取付位置となります。
- (3) スイッチ移動方法
締付ねじ(止めねじ)をゆるめシリンダチューブに沿ってスイッチ本体を移動させ、所定の位置で締付けてください。(止めねじの締付トルクは $0.1\sim 0.2\text{N}\cdot\text{m}$ にしてください。)
- (4) スイッチ交換方法
締付ねじ(止めねじ)をゆるめスイッチ本体を溝より抜きます。次に交換用スイッチを溝の中へ入れ所定の位置を決めねじを固定します。(止めねじの締付トルクは、 $0.1\sim 0.2\text{N}\cdot\text{m}$ にしてください。)

2) 動作範囲

ピストンが移動して、スイッチがONし、さらに同一方向に移動しOFFするまでの範囲をいいます。

動作範囲の中心は最高感度位置です。この位置をピストン停止位置にセットしますと、外乱を受けにくく、スイッチ動作が安定します。

3) スイッチレールの取付について

オプションのスイッチレール添付出荷やスイッチレールを別途ご購入していただいた時には、スイッチレールに添付してあります“スイッチレール取付要領書”に従って取付けてください。

4) 応差

ピストンが移動して、スイッチONした位置から、逆方向に移動して、OFFするまでの距離です。

この間へピストンが停止するとスイッチの動作は不安定となり、外乱の影響を受けやすい状態となります。

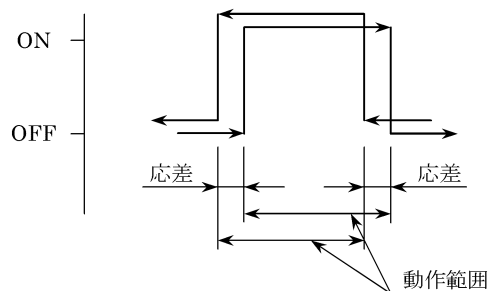


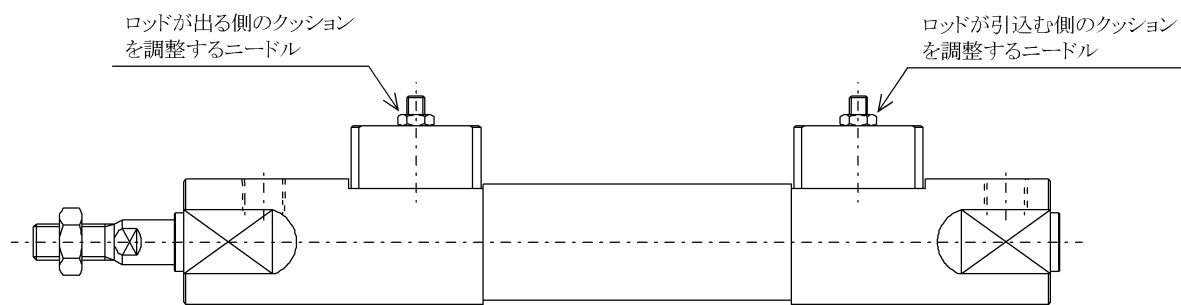
表 1

(単位 : mm)

チューブ内径 (mm)	無接点スイッチ (T2H/T2V, T3H/T3V)				有接点スイッチ (T0H/T0V, T5H/T5V)			
	最高感度位置		動作範囲	応差	最高感度位置		動作範囲	応差
	HD	RD			HD	RD		
φ 20	10	10	3～8	1.5 以下	9	9.5	6～14	3 以下
φ 25	9	11	3～9		8	10	5～14	
φ 32			3～8				5～12	
φ 40	11	13	3～9		10.5	12	6～14	
φ 50	12	14			11.5	13	7～15	
φ 63								

3. 使用方法

3. 1 シリンダの使用方法について



- 1) シリンダへの供給圧力は製品仕様欄に記載のとおりです。この使用圧力範囲内でご使用ください。
- 2) クッションのきき具合は、納入時に無負荷で調整してありますが、負荷に合わせてクッションのきき具合を変える時はクッションニードルで調整してください。
ニードルをしめれば（右回転）クッションのききがよくなります。調整後はニードルナットを締めつけてセットしてください。
なお、負荷が重い・速度が速い等その運動エネルギーが、表2より大きい場合には、別に暖衝装置を考慮してください。

表2 クッション特性表

チューブ内径 (mm)	許容吸収エネルギー (J)
φ 20	3
φ 25	5
φ 32	9
φ 40	14
φ 50	23
φ 63	30

- 3) ピストン速度はスピードコントローラを取り付けて、速度調整を行ってください。

3.2 スイッチの使用方法について

3.2.1 共通事項

1) 磁気環境

周囲に強磁場・大電流（大形磁石・スポット溶接機など）がある場所での使用は避けてください。スイッチ付シリンダを近接させて並列に取付ける場合や、シリンダのごく近くを磁性体が移動する場合には相互に干渉しあい、検出精度に影響が出る場合があります。

2) リード線の保護

リード線にくり返し曲げ応力および引張力がかからないよう、配線上ご配慮ください。
可動部には、ロボット用電線等の耐屈曲性のよいものを接続してご使用ください。

3) 周囲温度

高温（60℃を越える場合）での使用はできません。
磁気部品、電子部品の温度特性により高温環境での使用は避けてください。

4) 中間位置検出

ストロークの途中でスイッチを作動させる場合、ピストン速度が速すぎるとリレーが応答しなくなりますので注意してください。

5) 衝撃について

シリンダ運搬およびスイッチの取付・調整の際には、大きな振動や衝撃を与えないでください。

6) スイッチリード線色の変更について

現在、JIS規格の改正およびこれに伴うNECA（日本電機制御機器工業会）規格の改正をうけ、スイッチリード線色を表3の通りに切替中です。ご注意ください。

表3

		変更前	変更後
M, S, R, A, T, K, V, H シリーズ	2線式	白 (+)	茶 (+)
		黒 (-)	青 (-)
	3線式	赤 (+)	茶 (+)
		白 (出力)	黒 (出力)
		黒 (-)	青 (-)
T, K シリーズ (予防保全 出力付)	3線式	白 (+)	茶 (+)
		黄 (予防保全出力)	橙 (予防保全出力)
		黒 (-)	青 (-)
	4線式	赤 (+)	茶 (+)
		白 (通常出力)	黒 (通常出力)
		黄 (予防保全出力)	橙 (予防保全出力)
		黒 (-)	青 (-)

3. 2. 2 無接点スイッチ (T2, T3) の留意事項

1) リード線の接続

リード線の色分けに従って正しく接続してください。このとき必ず接続側電気回路の装置の電源を切って作業を行ってください。

誤配線・負荷の短絡をしますと、スイッチばかりでなく、負荷側電気回路の破損につながります。また、通電しながらの作業は、誤配線がなくとも、作業手順によっては、スイッチ負荷電気回路の破損につながる場合があります。

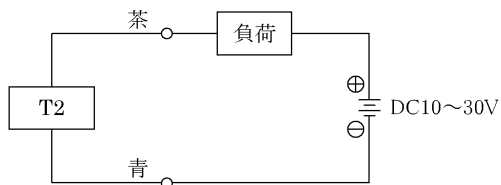


図1 F2 基本回路例

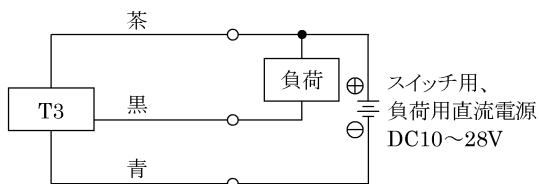


図2 F3 基本回路例(1)
(スイッチ電源と負荷用電源が同一の場合)

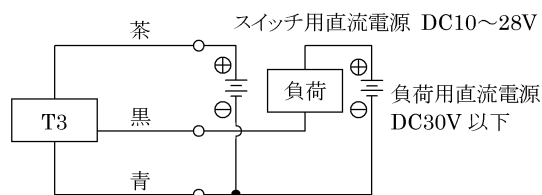


図3 F3 基本回路例(2)
(スイッチ電源と負荷用電源が異なる場合)

2) 出力回路保護

誘導性負荷(リレー、電磁弁)を接続使用する場合には、スイッチOFF時にサージ電圧が発生しますので図4に示す保護回路を必ず設けてください。

容量性負荷(コンデンサ)を接続使用する場合には、スイッチON時に突入電流が発生しますので図5に示す保護回路を必ず設けてください。

リード線配線長が10mを越える場合は、図6、7(T2の場合)、図8(T3の場合)に示す保護回路を必ず設けてください。

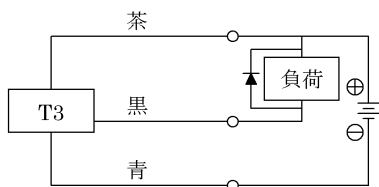


図4 誘導負荷にサージ吸収素子(ダイオード)を使用した例。ダイオードは日立製作所製 V06C、または相当品を使用してください。

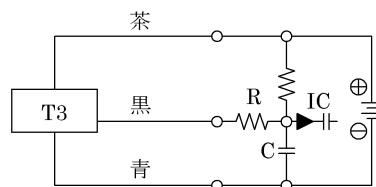


図5 容量性負荷に電流制限抵抗 R を入れた例。
この時抵抗 R(Ω)は次式以上を使用してください。

$$\frac{V}{0.05} = R(\Omega)$$

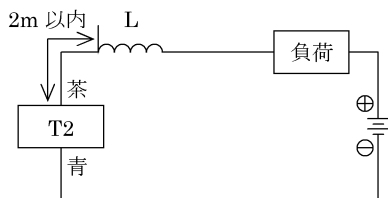


図6・チョークコイル
L=数百μH~数mH
高周波特性にすぐれたもの
・スイッチの近くで配線する(2m 以内)

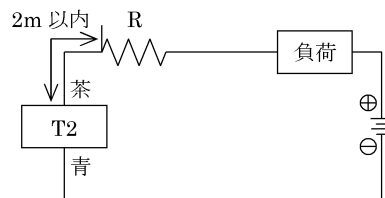


図7・突入電流制限抵抗
R=負荷側回路が許す限り大きな抵抗
・スイッチの近くで配線する(2m 以内)

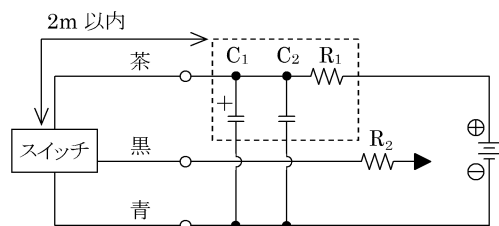


図8・電源ノイズ吸収回路

$C_1=20\sim50\mu\text{F}$ 電解コンデンサ

(耐圧 50V 以上)

$C_2=0.01\sim0.1\mu\text{F}$ セラミックコンデンサ

$R_1=20\sim30\Omega$

・突入電流制限抵抗

R_2 =負荷側回路が許す限り大きな抵抗を使用

・スイッチの近くで配線する(2m 以内)

3) プログラマブルコントローラ(シーケンサ)への接続

プログラマブルコントローラの形式により、接続方法が異なります。図9～図13による接続をお願いします。

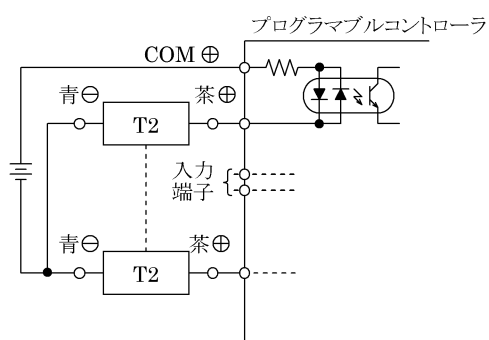


図9 ソース入力(電源外付)形へのT2 接続例

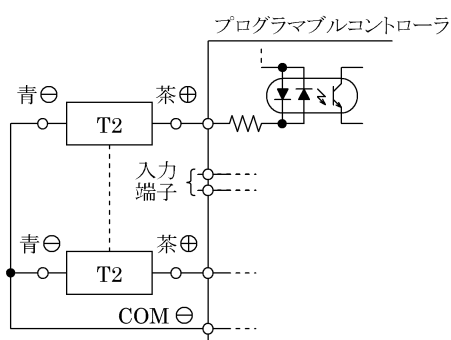


図10 ソース入力(電源内蔵)形へのT2 接続例

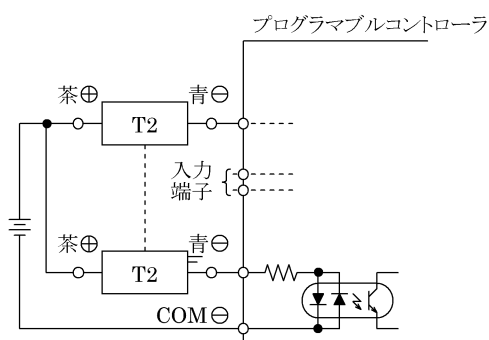


図11 シンク入力(電源外付)形へのT2 接続例

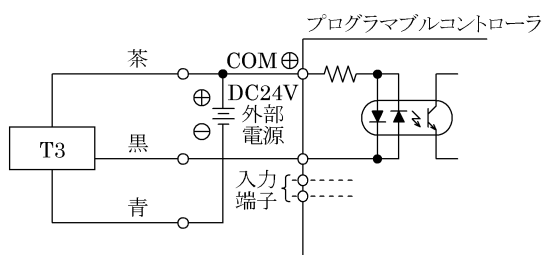


図12 ソース入力(電源外付)形へのT3 接続例

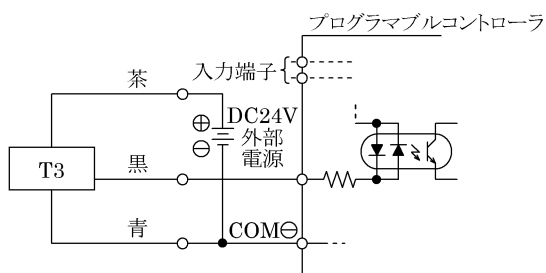


図13 ソース入力(電源内蔵)形へのT3 接続例

4) 並列接続

T2スイッチは、漏れ電流が接続個数分増加しますので、接続負荷であるプログラマブル・コントローラの入力仕様を確認の上、接続個数を決めてください。但し、表示灯が暗くなったり点灯しない場合があります。

T3スイッチは、漏れ電流が接続個数分増加しますが、漏れ電流値が非常に小さい($10\mu\text{A}$ 以下)のため、通常の使用においては、問題になることはありません。また、表示灯が暗くなったり、点灯しなくなることはありません。

3. 2. 3 有接点スイッチ (T0, T5) の留意事項

1) リード線の接続

スイッチのリード線は、直接電源に接続せず、必ず負荷を直列に接続して下さい。また、T0の場合、下記の①、②についてもご注意ください。

① DC用としてご使用の場合、茶線が+側、青線が-側になるように接続してください。逆に接続した場合にはスイッチは作動しますが、表示灯が点灯しません。

② ACのリレー、プログラマブルコントローラ入力に接続した場合、それ等の回路で半波整流を行っていますと、スイッチの表示灯が点灯しない場合があります。その場合、スイッチリード線接続の極性を逆向きにしますと表示灯が点灯します。

2) 接点保護対策

リレーなどの誘導性負荷で使用したり、配線路長が表4を越える場合には、必ず接点保護回路を設けてください。

表 4

電源	配線長
DC	100m
AC	10m

(1) 誘導性負荷を接続する場合の保護

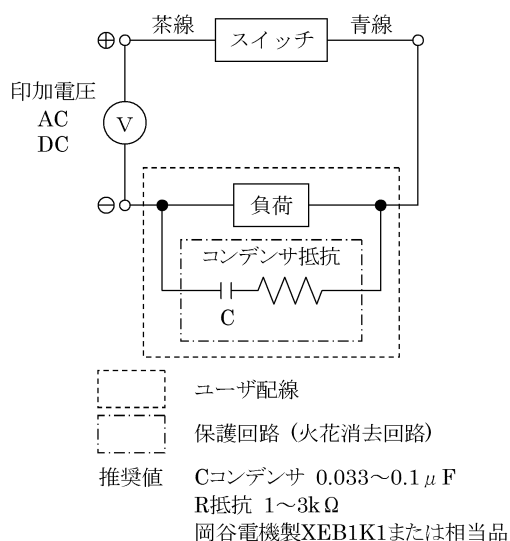


図1 コンデンサ、抵抗使用時

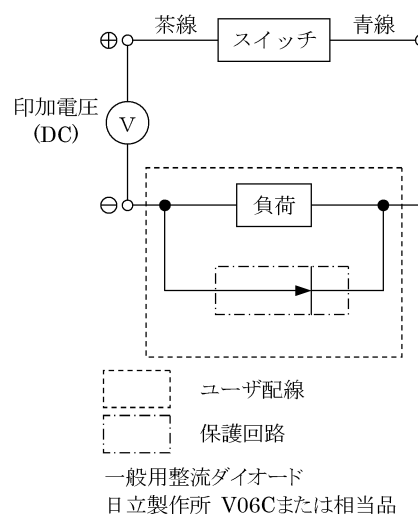
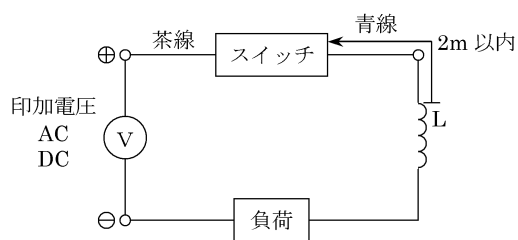


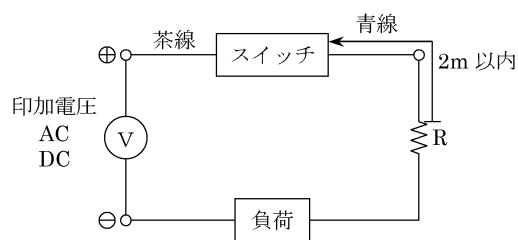
図2 ダイオード使用時

(2) 配線路長が表4を越える場合の保護



- ・ チョークコイル
L=数百 μ H～数mH
高周波特性にすぐれたもの
- ・ スイッチの近くで配線する (2m以内)

図3



- ・ 突入電流制限抵抗
R=負荷回路側が許す限り大きな抵抗
- ・ スイッチの近くで配線する (2m以内)

図4

3) 接点容量

スイッチの最大接点容量を越える負荷の使用は避けてください。また、定格電流値を下回る場合には、表示灯が点灯しない場合があります。

4) リレー

リレーは下記相当品を使用してください。

オムロン ……………MY形
富士電機 ……………HH5形
パナソニック ……………HC形

5) 直列接続

T0スイッチを複数直列に接続して使用する場合、スイッチでの電圧降下は接続したすべてのスイッチの電圧降下の和となります。

動作確認用として、T0を1個使用し、他をT5としますと、電圧降下は、T0を1個分程度 (約2.4V) でご使用できます。

表示灯はすべてのスイッチがONした時のみ点灯となります。

6) 並列接続

スイッチを複数並列に接続して使用する場合、接続個数には制限はありませんが、T0の場合スイッチの表示灯が暗くなったり点灯しない場合があります。

4. 保守

4. 1 定期点検

- 1) シリンダを最適状態でご使用いただくために、1～2回/年の定期点検を行ってください。
- 2) 点検項目
 - (1) ピストンロッド先端金具・支持金具取付用ボルトおよびナット類のゆるみ。
 - (2) 作動状態がスムーズであるかどうか。
 - (3) ピストン速度・サイクルタイムの変化。
 - (4) 外部および内部漏れ。
 - (5) ピストンロッドの傷および変形。
 - (6) ストロークに異常がないかどうか。

以上の箇所を確認し、異常があれば ”5 故障と対策” をご参照ください。尚、ゆるみがあれば増し締めしてください。

4. 2 分解手順

- 1) 当シリンダは分解ができます。
 空気漏れ等不具合が発生した時は内部構造図を参考にして分解し、消耗部品リストに記載してある部品を交換してください。
 - (1) 流体を止め残圧を抜く。
 - (2) 配管、負荷などをはずし、シリンダ単体にする。
 - (3) ヘッドカバー⑮またはロッドカバー⑤のどちらかの二面巾の部分で万力などではさんで固定する。
 - (4) 固定していないカバーの二面巾の部分に、スパナ、モンキーレンチなどを掛けてゆるめ、カバーを取り外してください。カバーを取りはずす際の使用工具は表5をご参照ください。

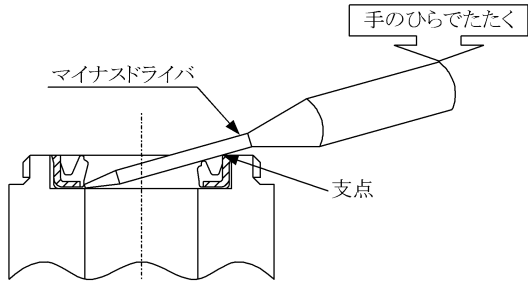
表5

チューブ内径 (mm)	カバーの二面巾(mm)	推奨使用工具			
φ 20	24	スパナ 24	モンキーレンチ 250	パイプレンチ 250	
φ 25	27	” 27	” 250	” 350	
φ 32	32	” 32	” 375	” 350	
φ 40	41		” 375	” 450	
φ 50	50			” 600	
φ 63	60			” 900	

注) ●パイプレンチ使用時はカバーに傷がつくことがあります。

- (5) ロッドパッキン③、ピストンパッキン⑪、シリンダガスケット⑥、ウェアリング⑭をマイナスドライバ、せんまいとおしなど先の細い工具でとりはずしてください。

- (6) エアークッション付でチューブからゆるめられなかった側のカバーのクッションパッキンを交換する場合はカバーの二面巾の部分で万力などではさんで固定し、カバー側に極力近い所のシリンダチューブ外径をパイプレンチなどではさんでゆるめ、カバーを取りはずしてください。（ただし、この場合シリンダチューブには傷がつくことがあります。）
- (7) φ40～φ63のクッションパッキンをはずす場合、カバーの二面巾の部分で万力などにはさみ固定し、下図のようにカバーの角を支点にしてマイナスドライバの先端部を金具の下に差し込み、ドライバの握り部を手のひらでたたき、はずしてください。



4. 3 組立手順

- 1) 各部品を清掃する。
- 2) 清掃後、分解と逆手順にて注意深く組立てる。
特に、パッキン類に傷がつくと作動不良および空気漏れの原因になります。

- 3) クッションパッキンの組付け（φ40～φ63の場合）
パッキンが傾いて入らないように、またリップ部に傷がつかないように、治具を用いて注意深くプレスで圧入する。圧入する際、金属リングの上面がカバーの端面より約0.5mm沈む状態まで圧入して下さい。

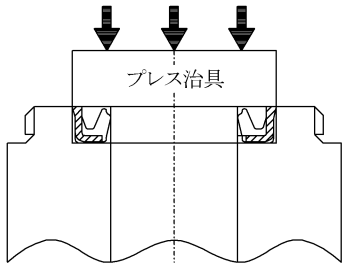
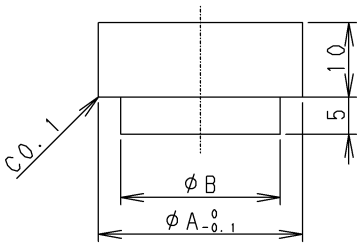


表6及び図は、プレス治具の一例です。ご参考して下さい。

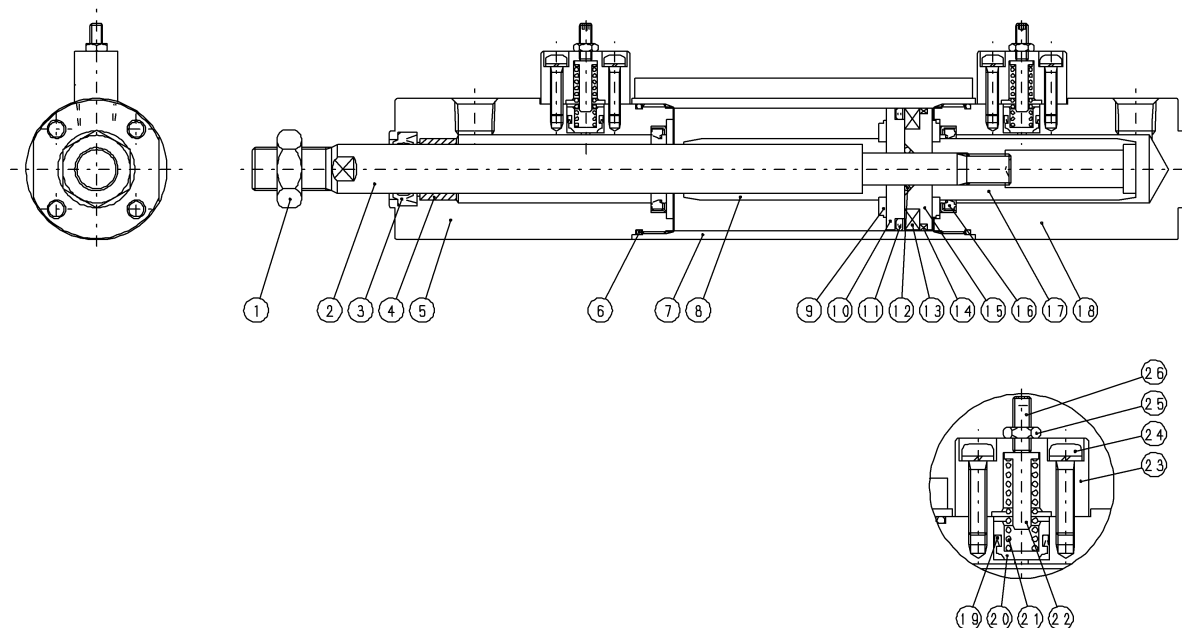
表6 プレス治具寸法 (mm)

チューブ内径	A	B
φ40	28	20
φ50, φ63	32	24



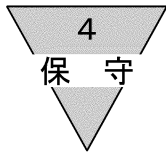
- 4) シリンダチューブ内面、ピストン外径面およびパッキン類には、上質のグリース（リチウム石鹸基グリース）を塗布してください。
- 5) ロッドカバー、ヘッドカバーをチューブにねじ込む際には分解前の位置より2° 位増し、締めつけてください。
（両側フート形の場合は、両側のフートの底面が、取付面に対しフラットになるように締めつけ角度に注意してください。）

4.4 内部構造図および消耗部品リスト



品 番	部品名称	材 質	備 考
1	ロッドナット	鋼	ニッケルメッキ
2	ピストンロッド	φ 20～φ 25：ステンレス鋼 φ 32～φ 63：鋼	工業用クロムメッキ
3	ロッドバッキン	特殊ニトリルゴム	
4	ブシュ	含油軸受合金	
5	ロッドカバー	アルミニウム合金	黒色アルマイト
6	シリンダガスケット	ニトリルゴム	
7	シリンダチューブ	アルミニウム合金	硬質アルマイト
8	クッションリング(R)	アルミニウム合金	クロメート処理
9	クッションゴム	ウレタンゴム	
10	ピストン(R)	アルミニウム合金	クロメート処理
11	ピストンバッキン	特殊ニトリルゴム	
12	ピストンガスケット	ニトリルゴム	φ 25～φ 63
13	ピストンマグネット	プラスチック磁石	
14	ウェアリング	アセタール樹脂	
15	ピストン(H)	アルミニウム合金	クロメート処理
16	クッションバッキン	φ 20～φ 32：ウレタン φ 40～φ 63：ウレタン・鋼	
17	クッションリング(H)	アルミニウム合金	クロメート処理
18	ヘッドカバー	アルミニウム合金	黒色アルマイト
19	リリーフ弁バッキン	ニトリルゴム	
20	リリーフ弁	銅合金	
21	ばね	鋼	電着塗装
22	ばね用カラー	鋼	クロメート処理
23	リリーフ弁押え	アルミニウム合金	黒色アルマイト
24	十字穴付なべ小ねじ	鋼	黒染
25	六角ナット	鋼	黒染
26	六角穴付止めねじ	鋼	黒染

注) 機種により多少構造は異なります。



消耗部品リスト（ご注文の際はキット番号をご指定ください。）

品番 部品名 チューブ 内径 (mm) キット番号		③	⑥	⑨	⑪
		ロッドパッキン	シリンダガスケット	クッションゴム	ピストンパッキン
φ 20	HCM-20K	F4-200254	AS568-018	F4-339043	F4-200270
φ 25	HCM-25K	F4-200330	AS568-021	F4-339044	F4-200308
φ 32	HCM-35K	F4-200330	AS568-025	F4-116103	F4-200346
φ 40	HCM-40K	F4-200362	AS568-029	F4-659039	F4-200381
φ 50	HCM-50K	F4-200434	AS568-032	F4-659026	F4-200453
φ 63	HCM-63K	F4-200434	AS568-036	F4-200451	F4-200477

品番 部品名 チューブ 内径 (mm) キット番号		⑭	⑯	⑰
		ウェアリング	クッションパッキン	リリーフ弁パッキン
φ 20	HCM-20K	F4-125610	F4-658562	DYP-12
φ 25	HCM-25K	F4-161716	F4-658563	DYP-12
φ 32	HCM-35K	F4-161733	F4-658563	DYP-12
φ 40	HCM-40K	F4-650239	F4-650636	DYP-12
φ 50	HCM-50K	F4-650240	F4-650637	DYP-12
φ 63	HCM-63K	F4-650241	F4-650637	DYP-12

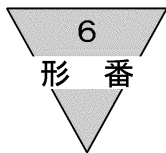
5. 故障と対策

1) シリンダ部

不具合現象	原 因	対 策
作動しない	圧力がない、圧力不足	圧力源の確保
	方向制御弁に信号が入っていない	制御回路の修正
	取付けの心が出ていない	取付状態の修正 取付形式の変更
	ピストンパッキンの破損	パッキンの交換
スムーズに作動しない	使用ピストン速度以下の速度	負荷変動の緩和
	取付けの心が出ていない	取付状態の修正 取付形式の変更
	横荷重がかかる	ガイドを設ける 取付状態の修正 取付形式の変更
	負荷が大きい	圧力をあげる チューブ内径をあげる
	速度制御弁がメータイン回路になっている	速度制御弁をメータアウト回路にかえる
破損・変形	高速作動による衝撃力	速度を遅くする 負荷を軽くする クッション機構のより確実なものを設ける (外部クッション機構)
	横荷重がかかる	ガイドを設ける 取付状態の修正 取付形式の変更

2) スイッチ部

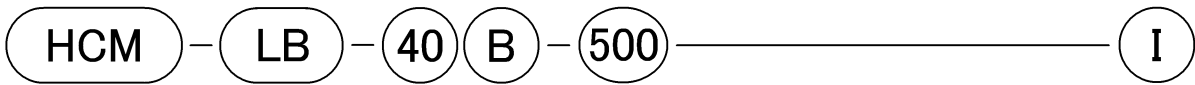
不具合現象	原 因	対 策
表示灯が点滅しない	接点の溶着	スイッチの交換
	負荷の定格オーバー	推奨リレーに交換またはスイッチの交換
	表示灯の破損	スイッチの交換
	外部信号不良	外部回路の再確認
スイッチが作動しない	断線	スイッチの交換
	外部信号不良	外部回路の再確認
	電圧違い	指示電圧にする
	取付位置の違い	正常な位置にする
	取付位置のずれ	ずれを修正し、増締めする
	スイッチの向きが逆	正常な向きにする
	ストローク途中の検出時に負荷（リレー）が応答できない	速度を遅くする 推奨リレーに交換
	負荷の定格オーバー	推奨リレーに交換またはスイッチの交換
スイッチが復帰しない	ピストンが移動していない	ピストンを移動させる
	接点の溶着	スイッチの交換
	リレーの定格オーバー	推奨リレーに交換またはスイッチの交換
	周囲温度が仕様範囲外	-10～60℃の範囲にする
	近くに磁場がある	磁気シールドをする
	外部信号不良	外部回路の再確認



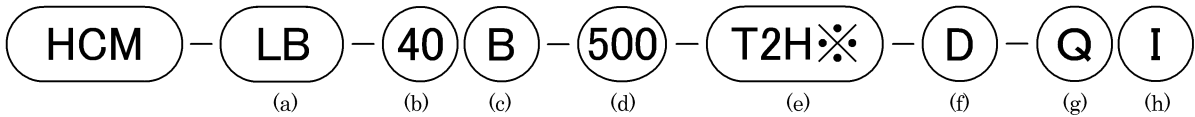
6. 形番表示方法

6. 1 製品形番表示

● スイッチなし



● スイッチ付



(a) 取付形式		(b) チューブ内径(mm)		(c) クッション		(d) ストローク	
00	基本形	20	φ 20	B	両側エアークッション付	チューブ内径 (mm)	ストローク範囲 (mm)
LB	軸方向フート形	25	φ 25	R	ロッド側エアークッション付		
FA	ロッド側フランジ形	32	φ 32	H	ヘッド側エアークッション付	φ 20	200～700
FB	ヘッド側フランジ形	40	φ 40	N	クッションなし	φ 25	
		50	φ 50			φ 32	
		63	φ 63			φ 40	200～1000
					φ 50		
						φ 63	

(e) スイッチ形番					(f) スイッチ数 (注3, 4)	
リード線		接点	表示式	リード線	R	ロッド側1個付
ストレートタイプ	L字タイプ				H	ヘッド側1個付
T0H※	T0V※	有接点	1色表示式	2線	D	2個付
T5H※	T5V※				T	3個付
T2H※	T2V※				4	4個付
T3H※	T3V※	無接点	1色表示式	3線	5	5個付
T2YH※	T2YV※			2線	※ リード線長さ	
T3YH※	T3YV※		2色表示式	3線		
T2YFH※	T2YFV※			3線	無記号	1m (標準)
T3YFH※	T3YFV※			4線	3	3m (オプション)
T2YMH※	T2YMV※		予防保全出力付	3線	5	5m (オプション)
T3YMH※	T3YMV※			4線		
T2YD※	—			2線		
T2YDT※	—		耐強磁界スイッチ 2色表示式	2線		
T2JH※	T2JV※		オフディレータイプ	2線		

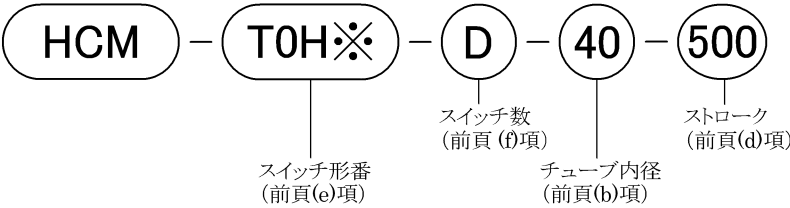
※印はリード線長さを表します。

(g) オプション		(h) 付属品	
Q	スイッチレール添付出荷	I	一山ナックル
M	ピストンロッド材質(ステンレス)	Y	二山ナックル

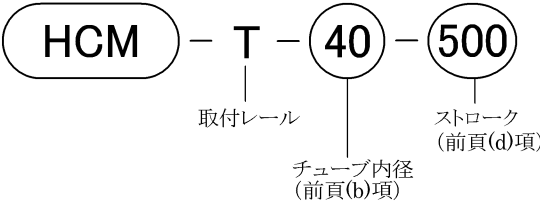
6. 2 部品形番表示

1) スイッチ

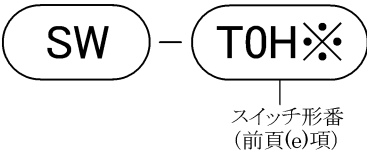
(1) スイッチ本体+取付レール一式



(2) 取付レールのみ



(3) スイッチのみ



2) 支持金具形番表示方法

チューブ内径 (mm) 支持金具	フート (LB)	フランジ (FA／FB)
φ 20	HCM-LB-20	HCM-FA-20
φ 25	HCM-LB-25	HCM-FA-25
φ 32	HCM-LB-32	HCM-FA-32
φ 40	HCM-LB-40	HCM-FA-40
φ 50	HCM-LB-50	HCM-FA-50
φ 63	HCM-LB-63	HCM-FA-63

7. 製品仕様

7.1 製品仕様

形 番		HCM					
項 目							
チューブ内径	mm	φ 20	φ 25	φ 32	φ 40	φ 50	φ 63
作動方式		複動形					
使用流体		圧縮空気					
最高使用圧力	MPa	1.0					
最低使用圧力	MPa	0.15					
耐圧力	MPa	1.6					
周囲温度	℃	-10～60 (但し、凍結なきこと)					
接続口径		Rc1/8		Rc1/4		Rc3/8	
ストローク許容差	mm	+2.0 0					
使用ピストン速度	mm/s	50～2000 (許容吸収エネルギー内でご使用ください。)					
クッション		エアクッション付					
給油		不要 (給油時はタービン油 ISO VG32 を使用)					
許容吸収エネルギー J (注1)	エアクッション付	3	5	9	14	23	30
有効クッション長さ	mm	56.5			55.5	58.5	

注1: この値を超える運動エネルギーの場合は、別途緩衝装置を考慮してください。

7.2 スイッチ仕様

種類・形番	有接点スイッチ			
項目	T0H, T0V		T5H, T5V	
用途	リレー、プログラマブルコントローラ専用		プログラマブルコントローラ、リレー、IC 回路(表示灯なし)、直列接続用	
負荷電圧	DC12/24V	AC110V	DC5/12/24V	AC110V
負荷電流	5～50mA	7～20mA	50mA 以下	20mA 以下
消費電流	—			
内部降下電圧	2.4V 以下		0V	
表示灯	LED (ON 時点灯)		—	
漏れ電流	0mA			
リード線長さ (注 1)	標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 2 芯、0.2mm ²)			
耐衝撃	294m/s ²			
絶縁抵抗	DC500V メガーにて、20MΩ 以上			
耐電圧	AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと			
周囲温度	-10～60℃			
保護構造	IEC 規格 IP67、JIS C 0920 (防浸形、耐油			

種類・形番	無接点スイッチ		
項目	T2H, T2V	T2YH, T2YV	T2JH, T2JV
用途	プログラマブルコントローラ専用		
電源電圧	—		
負荷電圧	DC10～30V		
負荷電流	5～20mA（注 2）		
消費電流	—		
内部降下電圧	4V 以下		
オフディレー時間	—		200±50ms
表示灯	LED （ON 時点灯）	赤色／緑色 LED （ON 時点灯）	LED （ON 時点灯）
漏れ電流	1mA 以下		
リード線長さ（注 1）	標準 1m（耐油性ビニール キャブタイヤコード 2 芯、 0.2mm ² ）	標準 1m（耐油性ビニール キャブタイヤコード 2 芯、0.3mm ² ）	
耐衝撃	980m/s ²		
絶縁抵抗	DC500V メガーにて 20MΩ 以上	DC500V メガーにて、100MΩ 以上	
耐電圧	AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと		
周囲温度	-10～60℃		
保護構造	IEC 規格 IP67、JIS C 0920（防浸形）、耐油		

種類・形番	無接点スイッチ	
項目	T3H, T3V	T3YH, T3YV
用途	プログラマブルコントローラ, リレー用	
電源電圧	DC10～28V	
負荷電圧	DC30V 以下	
負荷電流	100mA 以下	50mA 以下
消費電流	DC24V にて 10mA 以下	
内部降下電圧	0.5V 以下	
オフディレー時間	—	
表示灯	LED (ON 時点灯)	赤色／緑色 LED (ON 時点灯)
漏れ電流	10 μ A 以下	
リード線長さ (注 1)	標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 3 芯、0.2mm ²)	
耐衝撃	980m/s ²	
絶縁抵抗	DC500V メガーにて、20M Ω 以上	DC500V メガーにて、100M Ω 以上
耐電圧	AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと	
周囲温度	-10～60℃	
保護構造	IEC 規格 IP67、JIS C 0920 (防浸形)、耐油	

種類・形番	無接点スイッチ	
項目	T2YFH, T2YFV	T3YFH, T3YFV
用途	プログラマブルコントローラ専用	プログラマブルコントローラ, リレー用
表示灯	取付位置調整部 予防保全出力部	赤色／緑色 LED (ON 時点灯) —
通常出力部	電源電圧	— DC10～28V
	負荷電圧	DC10～30V DC30V
	負荷電流	DC5～20mA DC50mA 以下
	内部降下電圧	4V 以下 0.5V 以下
	消費電流	— 10mA 以下
	漏れ電流	1mA 以下 10 μ A 以下
予防保全出力部	負荷電圧	DC30V 以下
	負荷電流	DC20mA 以下 DC50mA 以下
	内部降下電圧	0.5V 以下
	漏れ電流	10 μ A 以下
	信号保持 (T on) 信号解除 (T off)	— —
リード線長さ (注 1)	標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 3 芯、 0.2mm ²)	標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 4 芯、 0.2mm ²)
耐衝撃	980m/s ²	
絶縁抵抗	DC500V メガーにて、100M Ω 以上	
耐電圧	AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと	
周囲温度	-10～60℃	
保護構造	IEC 規格 IP67、JIS C 0920 (防浸形)、耐油	

種類・形番		無接点スイッチ	
項目		T2YMH, T2YMV	T3YMH, T3YMV
用途		プログラマブルコントローラ専用	プログラマブルコントローラ, リレー用
表示灯	取付位置調整部	赤色／緑色 LED (ON 時点灯)	
	予防保全出力部	黄色 LED (ON 時点灯)	
通常出力部	電源電圧	—	DC10～28V
	負荷電圧	DC10～30V	DC30V 以下
	負荷電流	DC5～20mA	DC50mA 以下
	内部降下電圧	4V 以下	0.5V 以下
	消費電流	—	10mA 以下
	漏れ電流	1.2mA 以下	10 μ A 以下
予防保全出力部	負荷電圧	DC30V 以下	
	負荷電流	DC5～20mA 以下	DC50mA 以下
	内部降下電圧	4V 以下	2.4V 以下
	漏れ電流	10 μ A 以下	
	信号保持 (T on)	取付位置調整部赤色 LED 点灯より 0.4±0.2sec 後	
	信号解除 (T off)	取付位置調整部緑色 LED 点灯より 0.7±0.2sec 後	
リード線長さ (注 1)		標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 3 芯、 0.2mm ²)	標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 4 芯、 0.2mm ²)
耐衝撃		980m/s ²	
絶縁抵抗		DC500V メガーにて、100M Ω 以上	
耐電圧		AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと	
周囲温度		-10～60℃	
保護構造		IEC 規格 IP67, JIS C 0920 (防浸形)、耐油	

種類・形番		無接点スイッチ	
項目		T2YD	T2YDT
用途		プログラマブルコントローラ専用	
表示灯		赤色／緑色 LED (ON 時点灯)	
負荷電圧		DC24V±10%	
負荷電流		5～20mA	
内部降下電圧		6V 以下	
漏れ電流		1.0mA 以下	
出力デレイ時間 (注 3) (ON デイレ、OFF デイレ)		30～60ms	
リード線長さ (注 1)		標準 1m (耐油性ビニールキャブタイヤコード 2 芯、0.5mm ²)	標準 1m (難燃性ビニールキャブタイヤコード 2 芯、0.5mm ²) (オプション)
耐衝撃		980m/s ²	
絶縁抵抗		DC500V メガーにて、100M Ω 以上	
耐電圧		AC1000V 1 分間印加にて、異常なきこと	
周囲温度		-10～60℃	
保護構造		IEC 規格 IP67, JIS C 0920 (防浸形)、耐油	

注1：リード線は、オプションとして他に、3m、5mを用意しております。

注2：上記の負荷電流の最大値：20mAは、25℃でのものです。スイッチ周囲温度が25℃より高い場合は、20mAより低くなります。
(60℃にて5～10mA)

注3：磁気センサがピストン磁石を検出し、スイッチ出力が出るまでの時間を示します。